

高鴨穩乃の兄として

クダリ

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

みんな大好き穩乃ちゃんに兄がいたらという話です。

1  
話

# 目次

1



## 1話

「おにいちゃん。起きて起きて」

朝一番から元気いっぱいな声で目を覚ます。毎日のことなのでもう慣れたが、最初の方は眠くて眠くて辛かった。いや、まじで。どのくらいかというとな新入社員が上司の愚痴を小一時間聞かされるくらい辛かった。俺社会人じゃないからその辛さしらんけどね。

「おにいちゃん。今日も山行くよ。山」

「わかったよ。準備するから少し待ってろ。」

高嶋兄妹の日課である朝の山登りの時間がやってきました。ちなみに今の時間は朝4時です。準備を終えて兄妹そろって家を出る。

「準備出来たぞ。行くか穩乃」

「待ってました。早く行くよ、おにいちゃん。」

「いってきまーす。」

当然返事はない。そりゃ4時だもん。両親だつて寝てるわ。

山を走り回って家に到着。朝飯を食べながら穩乃は思い出したように俺を子供麻雀教室に誘った。なんでもおっぱい転校生が来てそのおっぱい転校生に俺を紹介したいらしい。どんだけおっぱい推すんだよ。まあ穩乃のお願いだしまあ行つてあげようかな。別におっぱいにつられたとかそんなじゃないからな。そのところ勘違いするなよ。

さつきから俺、誰に言ってるんだろ…。

というわけでやってきました子供麻雀教室。久しぶりだしーつやつときますか。

ガラガラガラ「おはヨーソロー。今日も一日がんば「ヨッチャンダ」

「おい桜子せめて最後まで言わせてくれ。」  
特徴的な声で俺のボケを潰しやがって…。まあ慕ってくれてるのがわかるからまあいいんだけどね。

「あれ、佳秋。軽くご無沙汰じゃないか」

「赤土さんじゃないですか！お疲れ様です。」

「なんで最近来なかったんだよ」

「この時期は家の手伝いが忙しくって」

「この前しずくに聞いたときも全く同じこと言ってたわ」

「そうなんすか。やっぱり相思相愛だからかな！なあ穩乃？」

「おにいちゃん。相思相愛ってどういう意味？」

「……」

「穩乃（しず）は可愛いなく」ナデナデ

「えっ？本当ですか？照れちゃいますよ」

待って。めっちゃ可愛い？。これはヤバイわ。兄貴の顔が見てみたいものだぜ。

……兄貴俺だったわ。てへぺろ。

「穩乃。おっぱい転校生まだ来てないの？」

「うーん。そろそろ来ると思うんだけどなく」

ガラガラガラ

「おっ！ついに来たか!!」

「みんなおはよ」

「ちっ、なんだ憧かよ」

「なによそのリアクション」

「いや、おっばい転校生を待ってたら、おっばい転校生かと思った？残念憧ちゃんでした。ってやられたんだぞ。そりゃ舌打ちぐらいしちやいますよ。」  
「何言ってるか全然分らないんだけど…」

ガラガラガラ

「みなさんおはようございます」

「おはよ〜和」

「今日もフリフリだね〜」

「おはようございます。穩乃、憧。こちらの方はどなたですか？」

「初めまして、穩乃の兄の高嶋佳秋（よしあき）です。よろしくねおっばい転校生ちゃん」

「えっ？」

「えっ？」

「いや、あんた何言ってるの？」

「だって穩乃がおっばい転校生って言ってたから」

「それをそのまま本人に言うばかいないでしょ」

「初めまして、原村和です。あまり近づかないでください」



「挨拶ついでに物理的に距離とられたただけどうすればいいの？ねえどうすればいいの？」

「笑えばいいと思うよ」

「赤土さん、そのボケはちよつと…」

「うるさいよ!!」

「人数も集まったしそろそろ打ちましようよ」

「おい！何しれつと始めようとしてんだよ。元はと言えば穏乃がちゃんとおっぱい転校生ちゃんの名前を覚えてくれればこんなことにはならなかったのに」

「それでもそのまま本人に言っちゃうあたりよしあきが悪いわよね」

「憧だつておっぱい転校生ちゃんのおっぱい見て思うところがあるんだろ？」

「そんなことないわよ。少ししか」

「やっぱりあるんじゃないかよ。自分もそうなのに人に言うとか何様ですかね」プ  
プ

「私が言ってるのはそれを直接言うなつてことよ。そんなのもわからないの！」

「このままじゃ埒があかねーわ。これで勝負しよーぜ」

「望むところよ。負けた方がちゃんと謝るのよ」

「オツケー。それでいこうか。さては始めるか！」

「将棋を！」

「麻雀じゃない（のかよ）んですか！」

「桜子それロン」

「シズチャー…」

「こっちはこっちでフリーダムだし」

「赤土先生大変ですね」

その後将棋で憧をボコボコにしていい気分浸ってたら赤土さんに怒られた。